



卓話講師：フード&トラベルライター 島根県ふるさと親善大使 西村 愛 様

卓話演題：「島根をメジャーにするための挑戦 フリーランス 17 年の活動と軌跡」

2024 年 9 月 11 日 (株)龍角散 代表取締役社長 藤井 隆太 様「老舗企業の経営革新」



当社の新製品「龍角散のどすっきりタブレット」は、お陰様でありがたいこと 30% のシェアをいただいています。現在 8 社に委託生産していますが、メーカーですので常に改良を心がけてはいます。本商品は、病院などで突然順番待ちが来た際や、のど飴を舐めていると困ってしまうようなシチュエーションに対応し、噛むことができるように、また小さく舐めながらしゃべることができるようにしました。水分を飛ばしているため、暑さに強く非常に安定性が高いのも特徴です。

私は桐朋学園の出身でフルート奏者として活動もしています。元々はこちらが本業でしたが、30 年ほど前に父から事業を継承しました。最近是中国市場を徹底的に進めており、順調に業績を伸ばしています。のど飴のカテゴリーで 30 億売りますと、もうトップに近いです。医薬品の龍角散シリーズも販売しています。

龍角散の歴史をお話します。これまで何度も危機がありました。私の先祖は秋田藩、佐竹侯の典医を務めていました。佐竹侯はもともとは水戸にいらっしゃいましたが関ヶ原合戦へ遅れて参加し、秋田藩へ藩替えとなりました。江戸中期、1797 年（寛政 9 年頃）漢方処方にて西洋生薬を取り入れて「龍角散」の原型を開発し、家伝薬として伝えられてきたわけですね。その後 3 代目が長崎で蘭学を修め、家伝薬を藩主の為にぜんそくの薬に改良し、現在の龍角散の処方の基礎を確立しました。明治に入り、廃藩置県が実施されますと典医の職を失職し、江戸に進出しました。明治 4 年（1871 年）に創業し、「龍角散」の名前で一般向けに販売を開始しました。なお、「龍角散」の名称は、初期の処方に「龍骨」「鹿角霜」「龍腦」が使われたことに由来しています。龍角散を全国に販売をはじめるときあたり、一緒に組んでくださったのは小林製薬さんです。文明開化が進む中、政府の方針で、薬に関しても欧米化を、ということで家庭薬排斥方針が進みましたが、業界で団結して薬を集め、本当に良いものを吟味して残したそうです。スペイン風邪の大流行の際には、龍角散の急激な需要が高まり、その需要に応えるべく、関東大震災にも耐えうる鉄筋コンクリートの社屋も建設されました。その後、東京大空襲による戦災など度重なる危機もありました。私が父から引き継いだ 30 年前は 40 億円の借金がある状態でした。「ノドだけはしっかり守っていこう」という方針で、カテゴリーを 1 本にしぼり経営化、効率に特化しました。現在ではのど専門メーカーとして、鎮咳去痰薬 21.6%、喉飴 25% のシェアをいただいています。たった 100 人の正社員規模で年間 240 億円を売り上げています。この規模は専門メーカーとしては最大規模で、のどカテゴリーにおいては、販売額、広告料ともに大手メーカーを凌駕しています。のどに特化し、ライフスタイルの変化を見逃さず、製品を絶えず進化させることを心がけました。「龍角散」シリーズは、30 年前は大きく低迷していましたが、生薬成分が喉の粘膜を直接活性化する点に着目し、風邪に限らない日常的な喉ケアにコンセプトを変更した結果、大きく売上が伸長して、いまではのど薬でトップシェアとなりました。「龍角散のどすっきり飴」にしても弊社の医薬品工場に製造したハーブパウダーを練り込んでいるところが大きなポイントで、これものど飴市場では 25 パーセント以上のトップシェアです。新製品を導入するより現有製品の改良に努めることが効果的であったと言えます。「ゴホンといえば龍角散」1978 年には CM 大賞をいただいています。安心信頼のおけるブランドイメージの再構築にも努めました。年商の 1/3 を広告宣伝費に投じてきました。CM 内では私も演奏しています。

現在高齢化が進みこのままでは医療制度が崩壊するのではないかと心配されていますが、私はセルフメディケーションが解決策の一つと考えています。若い方達は自ら健康になる努力をすることが重要でないかと思えます。

ニコニコ (年間目標 800,000 円)

9月11日(水) 例会 39,000 円

ゴホンと言えば龍角散、私が鼻たれの時から聞きなれています。卓話とても楽しみです。 小室会員
藤井様本日はよろしくお願いたします 秋山会員

【皆出席4回目】白井会員

【早退のお詫び】勝山会員

【季節の挨拶】

小熊会員 宮尾会員 松本会員
渡辺会員 山田会員 山元会員
相沢会員 泰地会員 百束会員
沖野会員 幅田会員 坂田会員
影山様

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 201,000 円
(年間目標 800,000 円)

◆例会出席報告◆

9月11日(水) 例会

出席者 16名 ビジター・ゲスト2名
出席率 78.8% 前々回出席率 90.2%

◆例会予定◆

◆9月25日(水)

(株)太田胃散 代表取締役社長

太田 淳之 様

「これからの日本における

太田胃散の役割」

◆10月2日(水)

卓話講師 (株)日野屋取締役 一般社
団法人日本ソムリエ協会認定ソムリエ
荻野悦子様

卓話演題 「ワインに親しむ」

◆10月9日(水) 休会

◆10月16日(水)

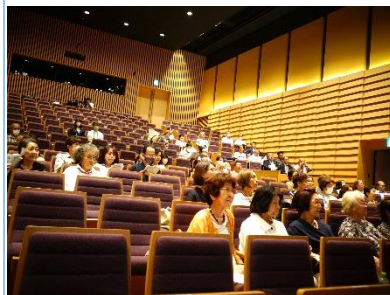
勝山義晴会員

「クラブ合併の経緯」(仮)

◆報告事項 お知らせ◆

老老介護ワークショップ報告

9月12日(木)スクエア荏原ひらつかホールにて老老介護ワークショップが開催されました。品川区民を中心とした近隣の90名程の方々にご参加いただきました。小山明子様の老老介護の経験に基づくキーノートのお話、パネルディスカッションにも熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



お手伝いくださった皆様お疲れ様でした!

国際ロータリー第2750地区 東京品川中央ロータリークラブ 会長 小室たくし 幹事 白井利枝子
設立 1967年10月18日 例会場 グランドプリンスホテル高輪「桜花」水曜日 12:30~13:30
事務局 〒108-0074 東京都港区高輪3-13-1 グランドプリンスホテル新高輪E-4
TEL 03-3443-6000 FAX 03-3443-6002 <http://www.shinagawachuo-rc.com/>

